

訪問調査票 1 (OCR用)

70

保険者番号

被保険者番号

概況調査

岸和田市

272021

000

調査対象者

氏名		性別	生年月日		年		月		日		()才	
男		女		明治		大正		昭和				
連絡先	現住所		〒		岸和田市		町		丁目		Tel ()	
	氏名		関係		連絡先住所		〒				Tel ()	

調査実施者

実施日	令和	5	年		月		日	
調査員	000000		氏名		所属機関			

現在受けているサービス

☐ 介護給付	☐ 予防給付 総合事業	☐ なし	家族状況	☐ 0: 独居 1: 同居(夫婦のみ) 2: 同居(その他)
-------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	------	---

現在状況 ☐ 01: 居宅、02: 老人福祉施設、03: 老人保健施設、05: グループホーム、06: 特定施設入居者生活介護適用施設
07: 医療機関(療養)、08: 医療機関(療養以外)、09: その他の施設等、10: 介護医療院、11: 養護老人ホーム※1
12: 軽費老人ホーム※1、13: 有料老人ホーム※1、2、14: サービス付き高齢者向け住宅※1

居宅の場合 該当するものに記入 (複数回答可) 「夜間訪問」・「地域特定」 「地域福祉」・「定期巡回」 「看護小規模」は介護 給付のみの項目です。 受けている 居宅介護の内容 (厚労省に準拠する)	訪問 介護		回	訪問 入浴		回	訪問 看護		回	訪問 リハ		回
	療養 指導		回	通所 介護		回	通所 リハ		回	短期 生活		日
	短期 療養		日	特定 施設		日	用具 貸与		品	用具 販売		品
	夜間 訪問		日	認知 通所		日	小規模 居宅		日	認知 共同		日
	地域 福祉		日	地域 特定		日	住宅 改修	☐ 有 ☐ 無				
	定期 巡回		回	看護 小規模		日	回答個数の合計					
☐ 市町村特別給付 ()				☐ 予防給付・介護給付以外の 在宅サービス ()								

※1 特定施設入居者生活介護適用施設を除く。
※2 サービス付き高齢者向け住宅の登録を受けているものを除く。

基本調査

麻痺・拘縮は「有」の場合は合計欄にチェックした数を記入。「無」の場合は「0」を記入。

第1群 身体機能・起居動作											
1-1 麻痺 (複数回答可)		回答 合計	☐	☐ 左上肢	☐ 右上肢	☐ 左下肢	☐ 右下肢	☐ その他			
1-2 拘縮 (複数回答可)		回答 合計	☐	☐ 肩関節	☐ 股関節	☐ 膝関節	☐ その他				
1-3 寝返り	☐ できる ☐ つかまれば可 ☐ できない	1-5 座位保持	☐ できる ☐ 自分で支えれば可 ☐ 支えが必要 ☐ できない								
1-4 起き上がり	☐ できる ☐ つかまれば可 ☐ できない	1-6 両足立位	☐ できる ☐ 支えが必要 ☐ できない								

訪問調査票 2 (OCR用)

71

保険者番号

被保険者番号

基本調査

岸和田市

272021

000

第1群 身体機能・起居動作

1-7 歩行	☐ できる	☐ つかまれば可	☐ できない	1-10 洗身	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助	☐ 行っていない
1-8 立ち上がり	☐ できる	☐ つかまれば可	☐ できない	1-11 つめ切り	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助	
1-9 片足立位	☐ できる	☐ 支えが必要	☐ できない					
1-12 視力	☐ 普通	☐ 1m先が見える	☐ 目の前が見える	☐ ほとんど見えず	☐ 判断不能			
1-13 聴力	☐ 普通	☐ やっと聞こえる	☐ 大声が聞こえる	☐ ほとんど聞こえず	☐ 判断不能			

第2群 生活機能

2-1 移乗	☐ 介助なし	☐ 見守り等	☐ 一部介助	☐ 全介助	2-7 口腔清潔	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助
2-2 移動	☐ 介助なし	☐ 見守り等	☐ 一部介助	☐ 全介助	2-8 洗顔	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助
2-3 えん下	☐ できる	☐ 見守り等	☐ できない		2-9 整髪	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助
2-4 食事摂取	☐ 介助なし	☐ 見守り等	☐ 一部介助	☐ 全介助	2-10 上衣の着脱	☐ 介助なし	☐ 見守り等	☐ 一部介助 ☐ 全介助
2-5 排尿	☐ 介助なし	☐ 見守り等	☐ 一部介助	☐ 全介助	2-11 ズボン等着脱	☐ 介助なし	☐ 見守り等	☐ 一部介助 ☐ 全介助
2-6 排便	☐ 介助なし	☐ 見守り等	☐ 一部介助	☐ 全介助	2-12 外出頻度	☐ 週1回以上	☐ 月1回以上	☐ 月1回未満

第3群 認知機能

3-1 意思の伝達	☐ できる	☐ 時々可	☐ ほとんど不可	☐ できない	3-6 今の季節を理解	☐ できる	☐ できない
3-2 毎日の日課を理解	☐ できる	☐ できない			3-7 場所の理解	☐ できる	☐ できない
3-3 生年月日・年齢を言う	☐ できる	☐ できない			3-8 徘徊	☐ ない	☐ 時々ある ☐ ある
3-4 短期記憶	☐ できる	☐ できない			3-9 外出して戻れない	☐ ない	☐ 時々ある ☐ ある
3-5 自分の名前を言う	☐ できる	☐ できない					

第4群 精神・行動障害

4-1 被害的	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある	4-7 介護に抵抗	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある
4-2 作話	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある	4-8 落ち着きなし	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある
4-3 感情が不安定	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある	4-9 一人で出たがる	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある
4-4 昼夜逆転	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある	4-10 収集癖	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある
4-5 同じ話をする	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある	4-11 物や衣類を壊す	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある
4-6 大声を出す	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある	4-12 ひどい物忘れ	☐ ない	☐ 時々ある	☐ ある

訪問調査票 3 (OCR用)

72

保険者番号

被保険者番号

基本調査

岸和田市

272021

000

第4群 精神・行動障害

4-13 独り言・独り笑い ☐ ない ☐ 時々ある ☐ ある

4-15 話がまとまらない ☐ ない ☐ 時々ある ☐ ある

4-14 自分勝手に行動する ☐ ない ☐ 時々ある ☐ ある

第5群 社会生活への適応

5-1 薬の内服 ☐ 介助なし ☐ 一部介助 ☐ 全介助

5-5 買い物 ☐ 介助なし ☐ 見守り等 ☐ 一部介助 ☐ 全介助

5-2 金銭の管理 ☐ 介助なし ☐ 一部介助 ☐ 全介助

5-6 簡単な調理 ☐ 介助なし ☐ 見守り等 ☐ 一部介助 ☐ 全介助

5-3 日常の意思決定 ☐ できる ☐ 特別除 ☐ 困難 ☐ できない

5-4 集団への不適応 ☐ ない ☐ 時々ある ☐ ある

過去14日間にうけた特別な医療について（あてはまる番号すべてにチェック）

処置内容

☐ 1. 点滴の管理

☐ 2. 中心静脈栄養

☐ 3. 透析

☐ 4. ストーマ（人工肛門）の処置

☐ 5. 酸素療法

☐ 6. レスビレーター（人工呼吸器）

☐ 7. 気管切開の処置

☐ 8. 疼痛の看護

☐ 9. 経管栄養

特別な対応

☐ 10. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度）

☐ 11. じょくそうの処置

☐ 12. カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル等）

回答合計 ☐ ☐

日常生活の自立度について

1. 障害高齢者の日常生活自立度 ☐ 自立 ☐ J1 ☐ J2 ☐ A1 ☐ A2 ☐ B1 ☐ B2 ☐ C1 ☐ C2

2. 認知症高齢者の日常生活自立度 ☐ 自立 ☐ I ☐ IIa ☐ IIb ☐ IIIa ☐ IIIb ☐ IV ☐ M

認定調査票特記事項

2 0

保険者番号

2 7 2 0 2 1

被保険者番号

0 0 0 0

特記事項を記入するときは、左側枠内に、それぞれの調査項目の該当番号を記入してください

特記事項（調査対象者の主訴、家族状況、居住環境日常的に使用する機器・器械の有無等について）

自宅では妻と2人暮らし。R〇年〇月〇日にしんどくなり妻と一緒にタクシーで受診する。〇〇で入院、〇月〇日に手術を行う。〇月〇日にリハビリ病院に転院され現在も入院中。妻も高齢であり。退院後は必要なサービスを使っていきたいと新規申請を行う。妻立ち会い。調査後、看護師に聞き取りを行う。

1. 身体機能・起居動作

- 1 麻痺等の有無
- 2 拘縮の有無
- 3 寝返り
- 4 起き上がり
- 5 座位保持
- 6 両足立位
- 7 歩行
- 8 立ち上がり
- 9 片足立位
- 10 洗身
- 11 つめ切り
- 12 視力
- 13 聴力

2. 生活機能

- 1 移乗
- 2 移動
- 3 えん下
- 4 食事摂取
- 5 排尿
- 6 排便
- 7 口腔清潔
- 8 洗顔
- 9 髪整
- 10 上衣の着脱
- 11 スポン等の着脱
- 12 外出頻度

3. 認知機能

- 1 意思の伝達
- 2 毎日の日課を理解
- 3 生年月日や年齢をいう
- 4 短期記憶
- 5 自分の名前をいう
- 6 今の季節を理解
- 7 場所の理解
- 8 徘徊
- 9 外出して戻れない

4. 精神・行動障害

- 1 被害的
- 2 作態
- 3 感情が不安定
- 4 昼夜逆転
- 5 同じ話を繰り返す
- 6 大声を出す
- 7 介護に抵抗
- 8 落ち着きなし
- 9 一人で出かける
- 10 収集癖
- 11 物や衣類を壊す
- 12 ひどい物忘れ
- 13 独り言・独り笑い
- 14 自分勝手に行動する
- 15 話がまとまらない

5. 社会生活への適応

- 1 薬の内服
- 2 金銭の管理
- 3 日常の意思決定
- 4 集団への不適応
- 5 買い物
- 6 簡単な調理

6. 特別な医療

- 1 点滴の管理
- 2 中心静脈栄養
- 3 透析
- 4 ストーマの処置
- 5 酸素療法
- 6 レスピレーター
- 7 気管切開の処置
- 8 疼痛の看護
- 9 経管栄養
- 10 モニター測定
- 11 じょうそうの処置
- 12 カテーテル

7. 日常生活自立度

- 1 障害高齢者の日常生活自立度
- 2 認知症高齢者の日常生活自立度

- 1-1 ベッド端座位で確認動作行う。両上肢は、前横方向ともに肩の高さまで自分で挙上し、静止できた。両下肢は、規定の1/2の位置まで挙上しか挙上できなかった。両下肢に、麻痺ありとする。
- 1-2 他動で確認動作行う。両上肢は、前横方向ともに肩の高さまで挙上できた。膝関節は、90度の屈曲ができたが、規定の2/3の位置までしか伸展できなかった。股関節は、座位の状態90度の屈曲が確認でき、膝の間も25cm程度開くことができた。膝関節に、拘縮ありとする。
- 1-3 ベッド柵につかまって、自分で寝返りすることができる。つかまれば可とする。
- 1-4 マットにしっかり手をつき、もう片方の手でベッド柵につかまれば起き上がることができた。つかまれば可とする。
- 1-5 前のテーブルや座面に手をつき支えていれば、10分座位保持ができた。自分で支えれば可とする。
- 1-6 ベッド柵をしっかり持っていれば、10秒の立位が保てた。支えが必要とする。
- 1-7 歩行の許可が出ておらず、歩行をするのはリハビリのみとのこと。できないとする。
- 1-8 ベッド柵を持ち、しっかり加重して立ち上がることができた。つかまれば可とする。
- 1-9 ベッド柵を持ち、1秒の片足立位ができた。つかまれば可とする。
- 1-10 2/w、入浴している。前ぐらいは自分で洗えるが、背中や足先など手が届かない部分は看護師の介助を受けている。一部介助とする。
- 1-11 手足の爪は看護師に切ってもらっている。全介助とする。
- 1-12 小さい文字は見えないが、1m先の視力確認票も見えていた。1m先が見えるとする。
- 1-13 普通の大きさの声では聞き取りにくく、何度も聞き返しがあった。少し大きめの声であれば聞こえていた。やっと聞こえるとする。
- 2-1 ベッドから車いす、車いすから便座等の移乗が発生している。（トイレ8/日、入浴2/w、リハビリ2/日）看護師がすぐ側で見守っていれば、自分で移乗することができる。見守り等とする。
- 2-2 車いすを看護師に押してもらっている。（トイレ8/日、入浴2/w、リハビリ2/日）全介助とする。
- 2-3 むせることなく、えん下できている。できるとする。
- 2-4 ベッドへ配膳してもらえば、自己摂取できている。介助なしとする。
- 2-5 紙パンツとパット使用。トイレにて、日中5回、夜間3回の排尿がある。1日2回程度パットを汚してしまうとのこと。ズボンの上げ下ろし、パット交換、水洗は看護師に介助してもらいが、ふき取りのみ自分で行っている。一部介助とする。
- 2-6 毎日、排便がある。ズボンの上げ下ろし、水洗は看護師に介助してもらいが、ふき取りのみ自分で行っている。失敗することはないとのこと。一部介助とする。
- 2-7 総義歯である。3/日、看護師がガーグルベース等を用意してくれると、自分で外し、磨くことができる。一部介助とする。
- 2-8 毎朝、顔拭きタオルが配られると、自分で顔を拭くことはできている。一部介助とする。
- 2-9 手ぐしでさっと整えている。介助なしとする。
- 2-10 看護師が上衣を構えると、手を通す協力動作はできる。一部介助とする。
- 2-11 看護師がズボンを構えると、足を上げる協力動作はできる。一部介助とする。
- 2-12 入院中であり、外出することはなかった。月1回未満とする。
- 3-1 調査時、自分の言いたいことをはっきりと伝えられていた。調査時の様子から、意思の伝達はできると判断した。
- 3-2 起床、就寝時間や1日のおおまかな流れについて答えられた。できるとする。

認定調査票特記事項

2 1

保険者番号

2 7 2 0 2 1

被保険者番号

0 0 0 0

特記事項を記入するときは、左側枠内に、それぞれの調査項目の該当番号を記入してください

1. 身体機能・起居動作

- 1 麻痺等の有無
- 2 拘縮の有無
- 3 寝返り
- 4 起き上がり
- 5 座位保持
- 6 両足立位
- 7 歩行
- 8 立ち上がり
- 9 片足立位
- 10 洗身
- 11 つめ切り
- 12 視力
- 13 聴力

2. 生活機能

- 1 移乗
- 2 移動
- 3 えん下
- 4 食事摂取
- 5 排尿
- 6 排便
- 7 口腔清潔
- 8 洗顔
- 9 整髪
- 10 上衣の着脱
- 11 スボン等の着脱
- 12 外出頻度

3. 認知機能

- 1 意思の伝達
- 2 毎日の日課を理解
- 3 生年月日や年齢をいう
- 4 短期記憶
- 5 自分の名前をいう
- 6 今の季節を理解
- 7 場所の理解
- 8 徘徊
- 9 外出して戻れない

4. 精神・行動障害

- 1 被害的
- 2 作話
- 3 感情が不安定
- 4 昼夜逆転
- 5 同じ話を繰り返す
- 6 大声を出す
- 7 介護に抵抗
- 8 落ち着きなし
- 9 一人で出たがる
- 10 収束癖
- 11 物や衣類を壊す
- 12 ひどい物忘れ
- 13 独り言・独り笑い
- 14 自分勝手に行動する
- 15 話がまとまらない

5. 社会生活への適応

- 1 薬の内服
- 2 金銭の管理
- 3 日常の意思決定
- 4 集団への不適応
- 5 買い物
- 6 簡単な調理

6. 特別な医療

- 1 点滴の管理
- 2 中心静脈栄養
- 3 透析
- 4 ストーマの処置
- 5 酸素療法
- 6 レスビレーター
- 7 気管切開の処置
- 8 疼痛の看護
- 9 経管栄養
- 10 モニター測定
- 11 じょくそうの処置
- 12 カテーテル

7. 日常生活自立度

- 1 障害高齢者の日常生活自立度
- 2 認知症高齢者の日常生活自立度

- 3-3 生年月日、年齢ともに正答できた。
- 3-4 直前の質問に対して、「テレビを見ていた」と答える。看護師から合っていることを確認する。できるとする。
- 3-5 自分の名前を正答できた。
- 3-6 「冬」と答える。できるとする。
- 3-7 「病院」と答える。できるとする。
- 3-8 行動の発生はない。なしとする。
- 3-9 行動の発生はない。なしとする。
- 4 群 問題となる行動の発生はない。
- 5-1 3/日の内服薬がある。看護師がその都度配薬すれば、自分で飲むことはできている。一部介助とする。
- 5-2 全体の管理は、家族が行っている。小遣い程度は、自分で管理している。一部介助とする。
- 5-3 日常のことは、自分で判断できている。病院での治療方針や介護の手続き等、ややこしいことは家族が支援している。特別除とする。
- 5-4 集団に参加することはないため、なしとする。
- 5-5 食材は一括して病院が購入している。日用品は、必要なものを本人が家族に依頼している。一部介助とする。
- 5-6 病院で3食提供されている。全介助とする。
- 6 群 特別な医療は行っていない。
- 7-1 病院内は車いすでの移動であり、移乗は見守りがあれば自分で行えている。B1とする。
- 7-2 しっかりされており、認知症は有しない。自立とする。